



八月(大)葉月 畢宿

八月七日立秋の節より
月命甲申二黒土星の月
暗剣殺西南方

旧七月小

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦	六輝	中段	其宿	下段	日出入	月出入	満潮	干潮
1日	土	ひのえ	ね六白	八朔、水の日、大宮水川神社例祭、諏訪お舟祭、横浜身代り不動尊胃腸病封、癩封、旧六月小	十二	大安	とる	氏	きこ	4.49	18.45	17.06	16.42
2日	日	ひのと	五黄	土用二の丑、八戸三社祭、桑名石取祭、青森ねぶた祭(7日迄)、鬼貫忌	十三	赤口	やぶる	房	十し	4.50	18.44	17.59	16.42
3日	月	つちのえ	四緑	秋田竿燈(6日迄)、多賀大社萬燈祭、小つち、不成就日	十四	先勝	あやぶ	心	母倉	4.51	18.43	18.45	17.48
4日	火	つちのと	三碧	○望月時五九分、京都北野天満宮例祭、久留米祭	十五	友引	なる	尾	母倉	4.51	18.42	19.25	18.16
5日	水	かのを	二黒	山形花笠祭(7日迄)	十六	先負	おさん	箕	天おん	4.52	18.41	19.59	18.42
6日	木	かのを	一白	広島平和記念日、仙台七夕(8日迄)、広島厳島神社管絃祭、東京佃祭(7日迄)	十七	佛滅	ひらく	斗	天おん	4.53	18.40	20.29	18.40
7日	金	みづのえ	九紫	立秋一〇時〇六分、鼻の日、新潟祭(9日迄)	十八	大安	ひらく	牛	百事吉	4.54	18.39	20.57	18.39
8日	土	みづのえ	八白	下関忌宮数方庭祭(7日、13日)、御嶽山雲上大御神火祭	十九	赤口	とづ	女	天おん	4.54	18.38	21.23	18.38
9日	日	きえ	七赤	東京オリオンピック開会式、長崎原爆の日、宝塚中山寺夏会式、京都清水寺千日詣り(16日迄)、十方ぐれ入り	廿	先勝	たつ	虚	大みやう	4.55	18.37	21.49	18.37
10日	月	きのと	六白	山の日、館山安房神社祭、西鶴忌	廿一	友引	のぞく	危	十し	4.56	18.36	22.16	18.36
11日	火	ひのえ	五黄	高知よさこい祭(9日、12日)、不成就日	廿二	先負	みつ	室	母倉	4.57	18.35	22.45	18.35
12日	水	ひのと	四緑	下弦一時四五分、徳島阿波踊り(15日迄)、三隣亡	廿三	佛滅	たいら	壁	大みやう	4.58	18.34	23.18	18.34
13日	木	つちのえ	三碧	月遅れ盆迎え火、一粒万倍日	廿四	大安	さだん	奎	大みやう	4.58	18.33	23.55	18.33
14日	金	つちのえ	二黒	奈良春日大社万灯籠	廿五	赤口	とる	婁	●	4.59	18.32	24.35	18.32

一年を通じて、一番暑さを感じるのはこの月である。寝苦しい夜が続き、寝不足になりがちで涼をとるため窓を開けて寝冷えをしたり、暑さのために疲労が蓄積したりし、とくに健康を損ないがちな月である。幼児、小児、高齢者の日射病、熱中症には注意が必要。

【婚】この月に挙式をする人は少ない。それはさておき、わが国の結婚は普通仲人がいるものである。仲人の由来と役割を簡単に説明しておこう。仲人は結婚の媒酌人のことで、古くは、結婚の意向を伝える使者として「古事記」「日本書紀」の中にも出てくる。単なる使者から次第に重大な任務を帯びてくるのは、配偶者を求める地域がだんだん広範囲に及んで、仲人の必要度が高まった結果であろう。仲人親といつて夫婦の振り返りする言葉もあるくらいである。仲人役を引き受けたら、

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦	六輝	中段	其宿	下段	日出入	月出入	満潮	干潮
15日	土	かのを	一白	月遅れ盆、終戦記念日、全国戦没者追悼式、未伏	廿六	先勝	やぶる	胃	ぶく日	5.00	18.31	15.33	20.41
16日	日	かのと	九紫	月遅れ盆送り火、京都・箱根大文字、松島灯籠流し、三嶋大社祭	廿七	友引	あやぶ	昴	神よし	5.01	18.29	16.29	21.37
17日	月	みづのえ	八白	滋賀建部夏祭	廿八	先負	なる	畢	百事吉	5.01	18.28	17.22	22.21
18日	火	みづのえ	七赤	千葉だらだら祭(16日、22日)、伝教大師誕生会、天一天上	廿九	佛滅	おさん	觜	大くわ	5.02	18.27	18.08	23.01
19日	水	きえ	六白	朔一時四二分、秋田花輪ばやし、旧七月小	朔	先勝	ひらく	参	神よし	5.03	18.26	18.50	23.39
20日	木	きえ	五黄	鎌倉市鎌倉宮祭	二	友引	とづ	井	大みやう	5.04	18.24	19.28	24.11
21日	金	ひのえ	四緑	不成就日	三	先負	たつ	鬼	●	5.05	18.23	20.02	25.01
22日	土	ひのと	三碧	処暑〇時四五分、一遍上人忌	四	佛滅	のぞく	柳	十し	5.05	18.22	20.35	25.47
23日	日	つちのえ	二黒	京都地蔵ぼん、秩父四萬部寺大施食会、三隣亡	五	大安	みつ	星	母倉	5.06	18.21	21.09	26.34
24日	月	つちのと	一白	東京パラリンピック開会式、東京亀戸天神祭、旧七夕、一粒万倍日	六	赤口	たいら	張	ちう日	5.07	18.19	21.44	27.22
25日	火	かのを	九紫	愛知一色大提灯、神奈川大山阿夫利神社秋季大祭	七	先勝	さだん	翼	ぶく日	5.08	18.18	22.23	28.10
26日	水	かのを	八白	●上弦二時五八分、富士吉田火祭	八	友引	とる	軫	●	5.08	18.17	23.06	28.97
27日	木	みづのえ	七赤	不成就日	九	先負	やぶる	角	大みやう	5.09	18.15	23.54	28.84
28日	金	みづのえ	六白	不成就日	十	佛滅	あやぶ	亢	大みやう	5.10	18.14	24.41	29.71
29日	土	きえ	五黄	不成就日	十一	大安	なる	氏	大みやう	5.11	18.13	25.28	30.58
30日	日	きのと	四緑	不成就日	十二	赤口	おさん	房	神よし	5.11	18.11	26.15	31.45
31日	月	ひのえ	三碧	不成就日	十三	先勝	ひらく	心	神よし	5.12	18.10	27.02	32.32

婚前婚後を通じて、若い二人の介添人としての自覚と責任を持つべきである。

【葬】七月に述べた「お盆」の行事は、月遅れの八月十五日に行うところや、旧暦七月十五日に行うところが意外と多い。

【祭】七月に続いて各地で夏祭りが繰り広げられる。青森ねぶた祭り、東京富岡八幡宮の祭り、京都東山の大火字、徳島の阿波踊りなどが有名である。

この月の六日と九日は、広島、長崎の原爆記念の日である。灼熱の閃光が走ったと同時に市街地は焼け野原になり、数十万の人が命を落とし負傷した。人類として忘れられない日である。

広島・長崎を原点として推進されてきた原水爆禁止運動は、現在では核廃絶運動として世界各国にまで浸透した。

「山の日」は山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する日である。(平成二十八年施行)

十五日は「終戦記念日」。二度と戦争の悲惨を繰り返さないよう、各自の胸に銘記しよう。